



平成29年3月期 決算



三ツ星ベルト株式会社

将来情報についての注意事項



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2016年度業績

(単位：百万円)



	2015実績	2016実績	差異	率
売上高	67,062	66,396	△666	△1.0%
営業利益	7,630	8,278	+648	+8.5%
率	11.4%	12.5%		
経常利益	7,788	8,487	+699	+9.0%
率	11.6%	12.8%		
親会社株主に帰属する当期純利益	5,691	6,663	+972	+17.1%
率	8.5%	10.0%		

(2016年度業績)

円高でも 4期連続過去最高益

売上高

- ・国内・海外ともに堅調に推移
- ・円高影響により若干下回る

利益面

- ・原材料価格低下の影響
- ・生産性アップの効果

営業利益は4期連続過去最高益

経常利益・当期純利益も過去最高益

四半期業績 推移

(単位：億円)



年間を通じて営業利益は高水準を維持



(四半期推移)

年間を通じて利益は高水準を維持

売上高

- ・期間を通じて160億円台を維持

営業利益

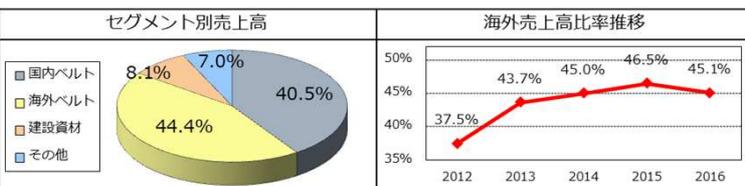
- ・年間を通じて高水準を維持
- ・目標の利益率10%以上を上回る

セグメント別売上高

(単位：百万円)



	2015実績	2016実績	差異	率%
国内ベルト	26,536 39.6%	26,908 40.5%	+372	+1.4%
海外ベルト	30,876 46.0%	29,499 44.4%	△1,377	△4.5%
建設資材	5,162 7.7%	5,345 8.1%	+183	+3.5%
その他	4,486 6.7%	4,642 7.0%	+156	+3.5%
計	67,062 100%	66,396 100%	△666	△1.0%
海外売上高	31,169 46.5%	29,923 45.1%	△1,246	△4.0%



(セグメント別売上高)

為替影響のぞくと海外は堅調

国内ベルト

- ・主力の一般産業用と自動車用がいずれも増加

海外ベルト

- ・現地通貨ではいずれの地域も前期を上回る
- ・円高の影響により邦貨換算では減少

建設資材

- ・建築の落ち込みを土木がカバー

その他

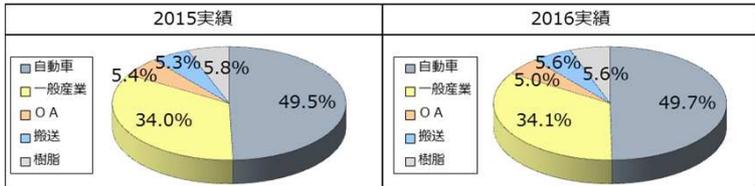
- ・S F 製品の医療機器向けが好調

ベルト売上高の内訳

(単位：百万円)



	2015実績		2016実績		差異	率%
自動車用ベルト	28,405	49.5%	28,057	49.7%	△348	△1.2%
一般産業用ベルト	19,541	34.0%	19,233	34.1%	△308	△1.6%
OA機器用ベルト	3,086	5.4%	2,828	5.0%	△258	△8.4%
搬送ベルト	3,054	5.3%	3,143	5.6%	+89	+2.9%
合成樹脂素材	3,326	5.8%	3,147	5.6%	△179	△5.4%
ベルト計	57,412	100%	56,408	100%	△1,004	△1.7%



(ベルト売上高) 為替の影響が響く

- 自動車用ベルト
・東南アジアにおいて補修需要が増加
- 一般産業用ベルト
・中国やタイを中心に農業機械用が増加
- OA機器用ベルト
・ATMの中国市場の落ち込み
- 搬送ベルト
・食品・物流向けともに好調

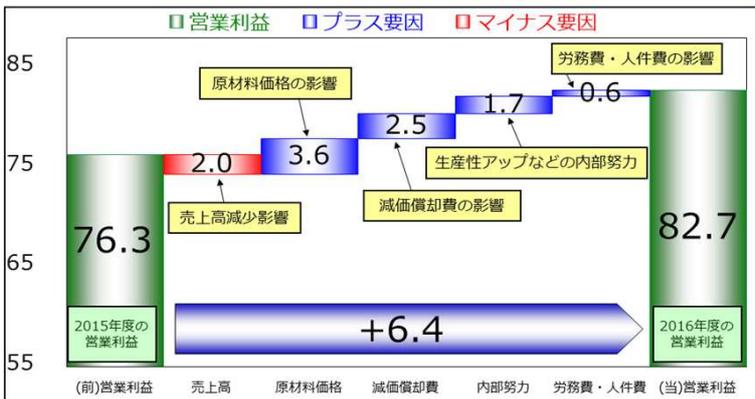
営業利益の変動要因

(単位：億円)



	2015実績	2016実績	差異
売上高	670.6	663.9	△6.7
営業利益	76.3	82.7	+6.4
経常利益	77.8	84.8	+7.0

- 原材料価格が低下
- 生産性アップと費用減により増益



(営業利益) 4期連続過去最高益

- 営業利益
- ・原材料価格低下の影響
 - ・減価償却費の減少
 - ・生産性アップなどの内部努力
 - ・労務費・人件費の減少

4期連続過去最高益

'17中期指針



期間	2017年度～2019年度				
業績目標	2019年度 売上高700億円 営業利益率11%以上				
	年度別推移 (単位:億円)				
		2016実績	2017目標	2018目標	2019目標
	売上高	663	670	685	700
	営業利益	82	74	76	78
経常利益	84	74	76	78	
為替レート	1USD=100円 1EUR=110円				

新たな中期指針を発表

'17中期指針

- 2019年度目標値
- ・売上高700億円
 - ・営業利益率11%以上

次期業績予想

(単位：百万円)



	2016 実績	2017開示			前期比	
		上期	下期	通期	金額	%
売上高	66,396	33,500	33,500	67,000	+604	+0.9%
営業利益	8,278	3,800	3,600	7,400	△878	△10.6%
率	12.5%	11.3%	10.7%	11.0%		
経常利益	8,487	3,800	3,600	7,400	△1,087	△12.8%
率	12.8%	11.3%	10.7%	11.0%		
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,663	2,700	2,600	5,300	△1,363	△20.5%

為替レート 1USD=100円 1EUR=110円

(次期業績予想)
リスクを織り込むも 高収益率を維持

'17中期指針の目標値達成を見込む

- 為替レート
- ・現状よりも厳しく想定
 - ・USD 100円
 - ・EUR 110円

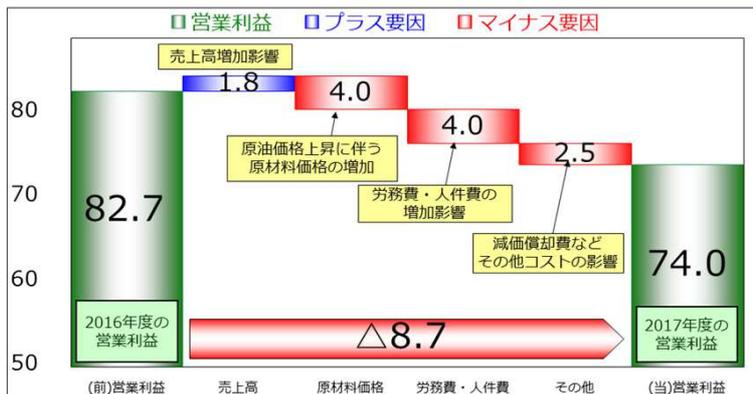
次期 営業利益の変動要因

(単位：億円)



	2016実績	2017開示	差異
売上高	663.9	670.0	+6.0
営業利益	82.7	74.0	△8.7
経常利益	84.8	74.0	△10.8

- 原油価格の上昇により、原材料価格は増加
- 労務費・人件費など費用面の増加を織り込む

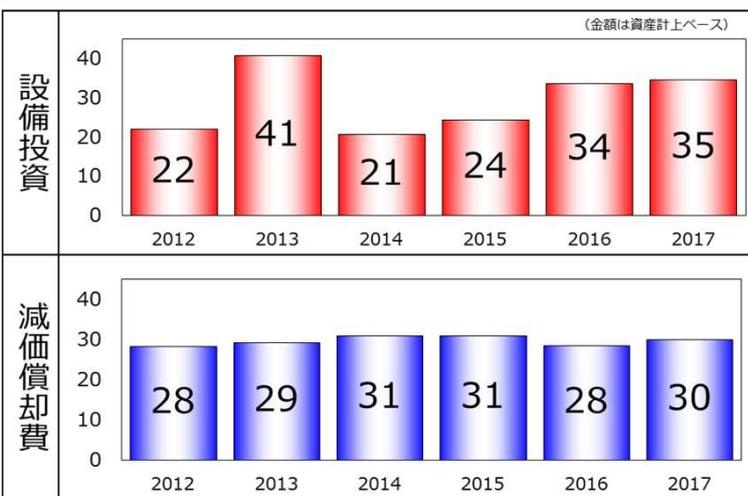


(次期営業利益)
原材料価格・費用 増加を見込む

- 営業利益
- ・原材料価格の上昇
 - ・労務費・人件費や減価償却費などの費用増加を織り込む

設備投資と減価償却費

(単位：億円)



(設備投資)2016年度 38%増
2017年度 2%増

- 2016年度
- ・試験研究設備の充実
 - ・拡販に向けた生産設備の増強
- 2017年度
- ・約35億円の予定

自己株式の取得と消却

(単位:千株)



	2016年度		1998～2017.3累計	
取得	2,599	2.5%	47,665	46%
消却	3,000	2.9%	38,670	37%

(自己株式)

自己株式の消却を実施

2016年度

- ・取得 約260万株
- ・消却 300万株

累計

- ・取得 約47百万株(約46%)
- ・消却 約38百万株(約37%)

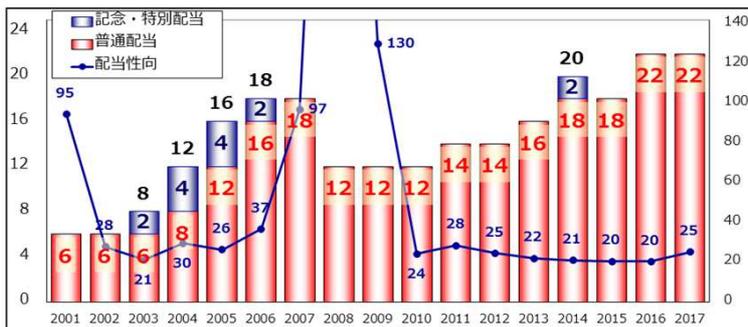
※括弧内の数値は取得・消却開始前に対する割合

配当金



	中間	期末	合計
2016年3月期	9円	9円	18円
2017年3月期(予定)	9円	13円	22円
2018年3月期(予想)	11円	11円	22円

4円増配



(配当金)

期末配当9円を13円に 4円増配

・中間配当は9円を実施

・期末配当は4円増配し13円